

氏名	植 野 克 巳
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2581 号
学位授与の日付	平成 5 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	間質性肺疾患における抗 HTLV-I 抗体に関する研究 第 1 編 DPB, IIP における抗 HTLV-I 抗体並びに HTLV-I 関連反 応の Western blot 法による検討 第 2 編 HTLV-I 関連細気管支・肺胞異常症 (HABA) における 抗 HTLV-I IgG, IgM, IgA 抗体に関する検討
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 太田 善介 教授 中山 睿一

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

DPB, IIP 患者血清の抗 HTLV-I 抗体を間接蛍光抗体法により検索した時に見られる, 抗 HTLV-I 抗体及び抗 HTLV-I 関連反応の本態を追及するため, MT-2 細胞蛋白を抗原として, Western blot 法により検討した。抗 HTLV-I 抗体陽性とされていたものは, 全例 HTLV-I 特異蛋白に対する抗体が陽性であったが, 一方, HTLV-I 関連反応陽性とされていたものは, HTLV-I 特異蛋白に対する抗体は陰性であり, またそれ以外の抗原抗体反応も検出できず, 依然本態は不明である。次いで, 同様に Western blot 法を用い, HTLV-I 感染の様々な病態として overt ATL, DPB 又は IIP を発症したもの (HABA), 無症候 carrier の 3 群間で, HTLV-I に対する免疫応答に差があるかどうかを, IgG, IgM 及び IgA 各免疫グロブリンクラスの抗 HTLV-I 抗体陽性率につき検討した。IgG, IgM 抗体の陽性率は 3 群間に差がなかったが, IgA 抗体の陽性率は HABA で有意に高率であった。これにより, HABA の呼吸器病変に対する HTLV-I 病因的関与が推察された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は, 間質性肺疾患における抗 HTLV-I (human T lymphotropic virus-I) 抗体の関連を検討したもので, Western blot 法により解析しているが, 抗体の Immunoglobulin

クラスには差がなかったが、抗 HTLV-I IgA 抗体は、HABA (HTLV-I associated bronchiolo alveolar disorder) に有意に高率に認められるとの興味ある成績をえている。  
よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。